

滋賀県平和祈念館 第37回企画展示

戦後80年
語りつぐ 平和へのねがい
SHIGA PEACE MUSEUM

記憶の中の戦場・中国

— 滋賀県出身の兵士が見た戦場と平和の灯(ともしび) —



1944年(昭和19年)の出征写真(西川新五良さん 提供)

「八幡山、ちよつと向こうの長命寺山
これが最後かな、もう見納めやな」

令和7年(2025年)

6月28日^土 - 12月14日^日 **〈入館無料〉**

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)

7月16日～8月24日は無休

※その他業務の都合により休館する場合があります。

駐車場 / 約50台(無料)

詳しくはホームページをご覧ください。

滋賀県平和祈念館

検索



記憶の中の戦場・中国

— 滋賀県出身の兵士が見た戦場と平和の灯(ともしび) —

明治時代の日清戦争と日露戦争を経て大陸への進出を進めた日本は、1931年(昭和6年)の満州事変以降、中国と激しく衝突するようになりました。1937年(昭和12年)の北京郊外の盧溝橋、続いて上海で武力衝突し、長期にわたる泥沼の戦いとなりました。

日中戦争以降、日本は多くの兵士を動員することになり、滋賀県出身者が集まる郷土部隊も構成されました。アジア・太平洋戦争にかけて郷土部隊が経験した戦場は、中国の東北部・中南部から東南アジア、太平洋地域にわたります。この戦争では、戦場に立った兵士だけでなく戦地となった地域の住民も含めて多くの命が失われました。

郷土部隊のひとつである嵐部隊は、中国の中部にある湖南省で終戦を迎えました。この地に残る戦争の痕跡と、これまで当館が収集してきた体験談と資料を中心に滋賀県出身の兵士が見た戦場を紹介します。

また、2023年(令和5年)に友好提携40周年を迎えた滋賀県と湖南省との友好の歩みについても紹介します。



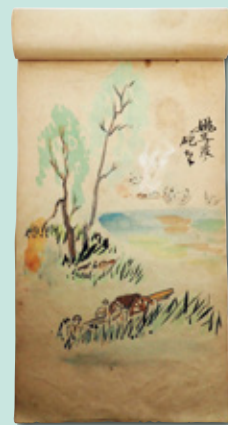
1944年の教育部隊の集合写真
(西川新五良さん 提供)



凱旋記念品の盃
(中川眞澄さん 提供)



故郷の家族から兵士への便り集
(個人 提供)



戦場で描いた水彩画
(個人 提供)

関連行事

学芸員による企画展示説明会

予約不要 令和7年 7月27日(日) 10:00～／15:30～ (2回・約45分)

平和祈念館からのお願い

■ 体験談の聞き取り調査・資料寄贈にご協力ください

国内外で戦争を体験された方からの体験談を募集しています。調査員がうかがってお話をお聞きます。また、戦争に関わる資料(戦没された方の遺品、戦時中に使っておられた品物、当時の写真・書類など)の寄贈を受付しています。資料の背景や当時使っておられた方の体験談または軍歴をお聞きます。対象は現在、滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に就いて戦争・戦時中の生活を体験された方です。

■ ボランティアの募集

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える活動のボランティアを募集しています。

■ 滋賀応援寄附のお願い

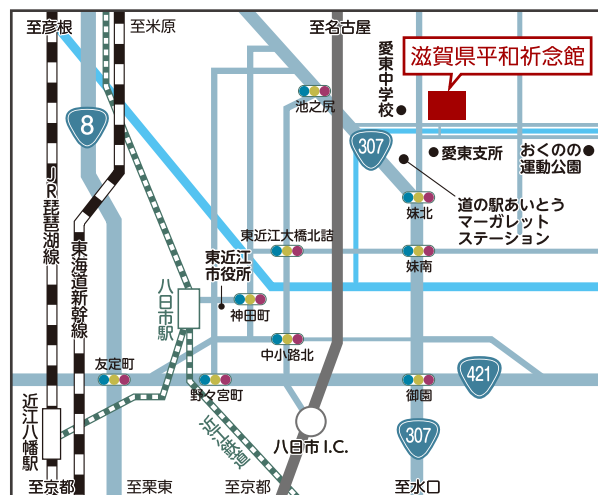
いただいたご寄附は、平和への想いを次世代へつないでいくための事業に活用します。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350

E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

交通アクセス



- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え
近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ
- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分(駐車場/約50台(無料))